

第一回 照明講習会

2006 年 6 月 5 日（月）

講師：織茂亜由美、須藤和也

学年 名前

【照明の必要性】

- ・ 明かりがないと何も見えません。人を照らし、舞台を照らし、お客さんにステージを見せて、魅せるのが照明の役目です。アドバンの照明は主に教室で出しますが、普通の教室の明かりでは、あじけないです。照明を出すことによって、ライブや演劇を彩ることができるのです。
- ・ 暗いところで明かりがあると、人はそっちに目を奪われます。目は、一番に情報が入ってくるものです。照明は、人の目を集めることができます。

【照明の3つの「み」】

- 1 . 見せる
- 2 . 魅せる
- 3 . 観せる

【照明職】

・ ライブ

ライブは、アドバンの照明活動で一番多い仕事です。曲に合わせて照明を変えていきます。曲調が変わるところなどで照明を変えると、より効果的です。ただ、あまりにも照明を変えすぎると、お客さんは舞台を見づらくなってしまいます。どこで照明を変えたらより効果的かを考えてみましょう。曲と照明があった瞬間はしびれます。

・ 演劇

演劇において照明は欠かせません。照明で照らされたところが舞台です。役者さんのアクティングエリアを決めます。照明が当たらないと役者さんの顔は見せませんよね？演技する範囲と役者の顔を見せ、舞台の空気を作り出します。

・ イベント、企画 etc...

屋内で行う場合、照明は必要ですし、演出の効果として使う場合もあります。屋外でも演出の効果として使いますが、夕方から夜にかけて暗くなるときに照明を使います。

【照明の機材】

- ・ 灯体（照明のライトの総称）
 - パー管
 - ◇ 500 ワイド（PAR64LB Wide）
 - ◇ 500 ナロー（PAR64LB Wide）
 - ◇ 300 ナロー（PAR56LB Narrow）
 - ◇ ミニパー（PAR36LB）
 - ステージライト（Light Box）
 - ストロボ
 - 特殊効果 波、雲
- ・ スタンド、トンボ
- ・ ハンガー（クランプ）
- ・ ディマー
- ・ 調光卓
- ・ カラーフィルター（ゼラ、ポリカラー）
- ・ バンドア、シート（ゼラばさみ）

【思わぬ事故をなくすために】

人間の主たる感覚を司る仕事ですので、事故が起こらぬよう十分注意しなければなりません。

・ 見えること、見えないことによる事故

光の強さを変えることが出来る照明スタッフは、どんな時でも「光」に気をつけなければなりません。

- 客席の照明

➤ 光の漏れ

➤ 機材の破損

➤ 怪我

・ **スタッフワークによる事故**

➤ 扱い方、操作方法

➤ 照明の落下

➤ 漏電、過出力

次週は実際に機材を触ります。軍手を忘れずに持ってきてください。

服装にも注意し、安全に作業を出来るようにしましょう。